



2024年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年2月14日

上場会社名 太洋物産株式会社 上場取引所 東
コード番号 9941 URL <https://www.taiyo-bussan.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松島 伸介
問合せ先責任者 (役職名) 総務部 ジェネラルマネージャー (氏名) 井坂 勇登 TEL 03-5946-8000
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第1四半期の業績 (2023年10月1日～2023年12月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第1四半期	4,417	△10.5	64	223.9	49	—	39	—
2023年9月期第1四半期	4,941	△5.0	19	△88.6	△34	—	△34	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第1四半期	20.48	19.85
2023年9月期第1四半期	△17.81	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年9月期第1四半期	7,057	689	9.5	348.32
2023年9月期	7,668	688	8.7	348.22

(参考) 自己資本 2024年9月期第1四半期 673百万円 2023年9月期 673百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年9月期	—	—	—	—	—
2024年9月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年9月期の業績予想 (2023年10月1日～2024年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,257	16.1	220	31.9	176	34.0	139	19.9	72.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は年次での業務管理を行っておりますので、第1四半期(累計)の業績予想の記載を省略しております。詳細は、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2024年9月期1 Q	1,934,019 株	2023年9月期	1,934,019 株
2024年9月期1 Q	753 株	2023年9月期	753 株
2024年9月期1 Q	1,933,266 株	2023年9月期1 Q	1,933,266 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第1四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(追加情報)	5
(セグメント情報等)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国の経済は、経済活動が正常化に向かう一方、継続する物価上昇による消費の減速など、国内外の見通しは依然として先行き不透明な状況が続いております。2020年1月頃から顕著になった新型コロナウイルス感染症による経済活動が正常化に向かう一方、2022年2月から始まったロシアのウクライナ侵攻に伴う資源価格の上昇や、急激な円安等による市場の混乱が続いており、経済活動について先行きが見えない状況の中、当第1四半期累計期間末を迎えました。

このような環境の下、当社の主要事業である食肉関連においては、未だ外食産業を中心とした需要は回復に至っておらず、売上高・取扱数量は減少となりましたが、新規アイテムの成約や、利益率の高い商材の販売を増加させることができました。次に農産品では、新規契約の取引が進み、売上高・取扱数量共に増加となりました。中国関連の取引においては、中国向けの輸出取引・三国間取引を中心に売上高・取扱数量共に増加したほか、輸入豚肉に関しては、中東問題による航路の迂回等を余儀なくされたことによる入船遅れ及び輸送コストの上昇等により、前年同期比で売上高・取扱数量共に減少となりました。

この結果、当第1四半期累計期間における売上高は44億17百万円(前年同四半期累計期間比10.5%減)、営業利益64百万円(前年同四半期累計期間比223.9%増)、経常利益49百万円(前年同四半期累計期間は経常損失34百万円)、四半期純利益39百万円(前年同四半期累計期間は四半期純損失34百万円)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(食料部)

牛肉は外食産業への販売をメインとしており、売上高・取扱数量ともに減少し厳しい状況が続いておりますが、利益の高い新規アイテムの成約等もあり、利益は増加いたしました。

鶏肉については、前事業年度より、輸入鶏肉の取扱量の縮小を進め、損失の回避に努めてきたことにより、売上高・取扱数量ともに減少となりました。国産鶏肉については、取引を安定的に確保するため、新規取引先の開拓に努めた結果、売上高・数量ともに増加いたしました。タイ産加工食品は、海外の生産・輸送体制の回復基調、新規商材の提案による利益率の高い商材の販売が成約できたこと等により売上高・取扱数量ともに増加となりました。

この結果、当第1四半期累計期間の売上高は、17億84百万円(前年同四半期累計期間比35.0%減)、セグメント利益は、49百万円(前年同四半期累計期間比0.7%増)となりました。

(営業開拓部)

農産品は、大豆等の産地価格の高騰や産地国の輸出規制の影響もありましたが、新規契約の取引が順調に進み利益率の高い商品の販売を増加させることができました。

化学品は、価格競争や為替相場の変動により商品を確保することができず、取引量を伸ばすことができませんでした。

中国関連におきましては、中国向け自動車販売や中国のネット事業者向け商材の販売が順調に推移し、中国市場の潜在的需要の高さを背景に取扱商品を着実に増やすことができ売上高・取引量が増加となりました。

この結果、当第1四半期累計期間の売上高は、24億87百万円(前年同四半期累計期間比46.7%増)、セグメント利益は、52百万円(前年同四半期累計期間比1,241.3%増)となりました。

(生活産業部)

輸入豚肉に関しましては、前事業年度に続き、市場の在庫過剰感、為替相場、中東における国際情勢の影響による航路迂回等による入船遅延及び輸送コストの上昇により、需要が様子見となった結果、売上高・取扱数量ともに減少となりました。

この結果、当第1四半期累計期間の売上高は、1億45百万円(前年同四半期累計期間比70.8%減)となりました。セグメント利益は、0百万円(前年同四半期累計期間比82.9%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期累計期間末の資産につきましては、現金預金は増加したものの、売上債権及び商品の減少に伴い、前事業年度末に比べ6億11百万円減少し、70億57百万円となりました。

負債につきましては、主に短期借入金及び仕入債務の減少により前事業年度末に比べ6億13百万円減少し、63億67百万円となりました。

純資産につきましては、四半期純利益の計上及び繰延ヘッジ損益の減少等により前事業年度末に比べ1百万円増加し、6億89百万円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2023年11月14日に公表いたしました予想から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年9月30日)	当第1四半期会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	673,149	981,666
受取手形及び売掛金	4,230,175	3,596,455
電子記録債権	9,270	372
商品	1,367,505	1,126,535
その他	790,760	755,717
流動資産合計	7,070,860	6,460,747
固定資産		
有形固定資産	222,030	220,174
無形固定資産	2,859	2,859
投資その他の資産	372,942	373,306
固定資産合計	597,832	596,341
資産合計	7,668,693	7,057,088
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	866,085	689,178
短期借入金	5,771,564	5,321,563
未払費用	165,258	145,405
その他	34,385	72,011
流動負債合計	6,837,293	6,228,158
固定負債		
退職給付引当金	102,601	103,794
その他	40,748	35,543
固定負債合計	143,350	139,338
負債合計	6,980,644	6,367,497
純資産の部		
株主資本		
資本金	257,792	257,792
資本剰余金	157,792	157,792
利益剰余金	246,914	286,509
自己株式	△969	△969
株主資本合計	661,530	701,126
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	11,679	△27,730
評価・換算差額等合計	11,679	△27,730
新株予約権	14,839	16,194
純資産合計	688,049	689,590
負債純資産合計	7,668,693	7,057,088

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)
売上高	4,941,735	4,417,991
売上原価	4,811,878	4,222,515
売上総利益	129,856	195,475
販売費及び一般管理費	109,945	130,977
営業利益	19,910	64,498
営業外収益		
受取賃貸料	2,433	3,369
その他	186	103
営業外収益合計	2,620	3,472
営業外費用		
支払利息	14,620	13,790
為替差損	39,781	2,234
その他	2,224	2,333
営業外費用合計	56,626	18,358
経常利益又は経常損失(△)	△34,095	49,613
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△34,095	49,613
法人税、住民税及び事業税	72	10,067
法人税等調整額	281	△50
法人税等合計	353	10,017
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△34,448	39,595

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積りについて)

前事業年度の有価証券報告書の追加情報に記載した新型コロナウイルス感染症の影響に関する内容について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期損益計算書 計上額 (注) 2
	食料部	営業開拓部	生活産業部	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,747,028	1,694,755	499,952	4,941,735	—	4,941,735
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,747,028	1,694,755	499,952	4,941,735	—	4,941,735
セグメント利益	49,333	3,921	3,406	56,661	△36,750	19,910

(注) 1. セグメント利益の調整額△36,750千円は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期損益計算書 計上額 (注) 2
	食料部	営業開拓部	生活産業部	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,784,766	2,487,708	145,515	4,417,991	—	4,417,991
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,784,766	2,487,708	145,515	4,417,991	—	4,417,991
セグメント利益	49,715	52,600	582	102,899	△38,400	64,498

(注) 1. セグメント利益の調整額△38,400千円は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。